

市町村名	久米島町										
令和２年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート											
事業名	久米島町電子図書館実証事業					事業類型	☒ 産業振興				
							☒ 定住促進				
							☐ その他				
担当部課名	教育課					事業実施 (予定)年度	平成30～令和2年度				
事業内容	電子図書館の効果的な運営方法、利用促進手法、住民のニーズ等を検証する。										
	先導性に係る取組	☐	自立性		☒	政策間連携		☐	離島活性化を担う人材の確保・育成		
		☐	官民協働		☒	事業推進主体の形成		☒	その他		
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)										
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R 年度	R 年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,293	3,977	4,168						
		(b) 予算現額	6,293	3,977	4,168						
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0						
		(d) 繰越額	0	0	0						
		A. 計 (b+d)	6,293	3,977	4,168						
		B. 執行済額		6,128	3,977	3,842					
		うち補助金充当額		4,902	3,181	3,073					
		次年度繰越額		0	0	0					
		執行率(%) (B/A)		97.4%	100.0%	92.2%					
	予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、予定していた電子図書館実証実験及び利用促進イベントについて1回開催することができなかったことから、執行残が生じた。								
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況								
				H30年度	R1年度	R2年度	R 年度				
	実証実験及びアンケート実施	目 標	(1件)	(1件)	(1件)	()					
		実 績	1件	1件	1件						
	電子図書館システムの運用	目 標	()	()	(1件)	()					
		実 績			1件						
	検討会議及び報告書作成	目 標	()	()	(2回1件)	()					
実 績				1回1件							
達成状況説明	○複合型防災・地域交流施設内図書室を拠点に電子図書館やタブレットを利用した読書イベントの開催した結果、電子図書館を活用した読書の機会を提供することができ、利用登録者数が増えた。 ○図書数約8,200冊余の電子図書館システムを運営するとともに、町広報誌や町ホームページ、公共施設各所にポスター掲示を行い、島民へ周知し、利用促進に努めた。 ○事業最終年度であることから、3か年間の実証事業の課題・成果と今後の取り組みをまとめた業務完了報告書を作成し、電子図書館サイトで公表する。										
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)			基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)			
	・電子図書館利用者のうち、読書の機会が増えた島民の割合(アンケート結果)	目 標		()	()	(80%以上)	()				
		実 績					73.3%				
	・電子図書館利用登録者数	目 標		()	()	(500人以上)	()				
		実 績			286人	359人	1492人				
進捗状況説明	○貸出冊数や利用者数が増えたものの、読書の機会が増えたと回答した島民の割合は目標を達成することができなかった。 ○複合型防災・地域交流施設内図書室利用申込者が電子図書館を利用できるようになったことから、電子図書館の利用者が増加した。										

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○前年度比で大幅に貸出冊数が増加したが、コロナウイルス感染拡大に伴い、自宅で過ごす時間が増えたことが要因と考えられる。（R1・458冊⇒R2・647冊） ○令和2年10月末開館した複合型防災・地域交流施設内図書室利用者が電子図書館を利用できるようになった。 ○アンケート結果からコンテンツ数が少ないことと、ネット端末を持っていないと回答が得られたことから、本を読む習慣はあるものの実際の利用者数が伸び悩んでいると考えられる。	○GIGAスクールで導入したタブレットを活用し、学校や家庭で地域学習を行えるよう町独自資料（行政資料、博物館資料）を増やし、利用促進を図る。 ○アンケート結果や利用統計に基づき、利用者ニーズに合ったコンテンツを年次的に導入する。 ○複合型防災・地域交流施設内の図書館で電子図書館タブレットを活用し読み聞かせ会などのイベントに積極的に活用する。
今後の取り組み方針		
○町役場の各課と連携し、本町独自資料を積極的に増やしていく。学校現場においては郷土に関する副教材として、また町民が産業振興や定住促進につながる調べる際の学習資料として活用を図る。 ○利用の高いジャンル、沖縄に関連する情報を優先的にコンテンツを増やし、利用促進につなげる。 ○コロナ禍の中、久米島町電子図書館実証事業を参考に沖縄県立図書館を含め県内7図書館で電子図書館が導入された。各館と連携し、電子図書館の活用方法などを情報共有し、利用促進につなげる。 ○実証事業終了後も定期的にアンケートを実施し、町民ニーズの把握に努め、読書環境の充実と継続的な運営につなげる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>補助対象 事業費</th><th>補助金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>補助対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,842</td><td>3,842</td><td>3,073</td><td>769</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	補助対象 事業費	補助金 充当額	市町村 負担金	補助対象 外経費	3,842	3,842	3,073	769	0
総事業費	補助対象 事業費	補助金 充当額	市町村 負担金	補助対象 外経費										
3,842	3,842	3,073	769	0										
久米島町 3,842千円 → 委託料 3,842千円 → 株式会社図書館流通センター 3,842千円 （久米島町電子図書館実証事業業務委託）														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先は事業初年度に電子図書館システム構築と実証事業を受託した業者であり、見積内容を精査した上で選定していることから、妥当であると考ええる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算に当たって、仕様書に基づき専門業者より徴収した見積書を精査し、事業を執行するために必要額を計上していることから、適正な規模と考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途ともに積算及び事業計画策定時において検証していることから、実証事業の目的に照らし合わせて、必要と考える。											